

平成 19 年 10 月 31 日

各 位

東京都中央区日本橋 1 丁目 4 番 1 号
日本橋一丁目ビルディング（コレド日本橋）
株式会社 シンプレクス・テクノロジー
代表取締役社長 金子 英樹
(コード番号：4340 東証1部)
問い合わせ先 アドミニストレーショングループ
執行役員 澤田 正憲
TEL 03-3278-6750 (代表)

中間業績予想の修正に関するお知らせ（業績上方修正）

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 9 日の決算発表時に公表した中間期の業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 20 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)
(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 9 日発表) | 3,360 | 520 | 530 | 305 |
| 今回修正予想(B) | 3,437 | 789 | 795 | 465 |
| 増減額(B-A) | 76 | 269 | 265 | 160 |
| 増減率 | 2.3% | 51.7% | 50.0% | 52.4% |
| (ご参考)：前期 (平成 19 年 3 月期連結中間)実績 | 2,598 | 509 | 509 | 301 |

2. 修正理由

連結売上高：シンプレクス・テクノロジー本体の売上が好調に推移したことから、前回予想を上回り 3,437 百万円（前回予想比+2.3%、前年同期比+32.3%）となる見込みです。

連結営業利益：前回予想を上回り 789 百万円（前回予想比+51.7%、前年同期比+55.3%）となる見込みです。

連結経常利益：前回予想を上回り 795 百万円（前回予想比+50.0%、前年同期比+56.1%）となる見込みです。

連結当期純利益：前回予想を上回り 465 百万円（前回予想比+52.4%、前年同期比+54.2%）となる見込みです。

当上期は、昨年から引き続き主力のディーリングシステムの販売が好調で、業績が予想を上回って

推移いたしました。特に都市銀行/信託銀行向け売上が、前年同期比+110.3%増となり大幅に増加しました。さらに、インターネット取引システムにおいても、インターネット証券向けリアルタイムトレーディングツール「SPRINT」が、5月よりオリックス証券で本番稼動するなど、堅調に売上が推移しております。

また利益面では、各案件の利益率が好調に推移したことから、業績予想を大きく上回る見込みとなりました。

3. 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

業績は非常に好調に推移しておりますが、通期業績予想につきましては、当社の売上が下期に偏重する傾向があることから、業績動向が不確定であるため、現時点では当初予想を据え置きます。

今後の動向に応じて、業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示することいたします。

(ご参考)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 通期の連結業績予想 (平成19年5月9日発表) | 8,100 | 1,850 | 1,850 | 1,054 |
| (参考) 前期の連結業績実績 | 6,742 | 1,612 | 1,608 | 909 |

以 上